財 務 会 計

辻山　栄子 教授

１．担当教員の専門分野（研究領域）・現在の研究テーマ

　研究領域は財務会計と国際会計。会計情報の認識・測定ならびに伝達（ディスクロージャー）の問題を扱っている。近年は、主として会計情報の機能と利益計算の関係、会計情報の測定構造、そして会計基準のコンバージェンスの問題に興味をもって取り組んでいる。

２．指導方針

　（修士課程）現行の日本、アメリカならびに国際財務報告制度について、基礎的な知識を修得する。その上で、現行の制度が抱える問題点を抽出し、議論を深める。また、最近の会計上の重要トピックについて、体系的に学習した上でディスカッションを行なう。これらの全体討論等を通じて、参加学生自身が興味を持ったテーマを各自が選択して、論文を執筆する。論文執筆にあたっては、進捗状況に応じて随時全体の場で報告し、討論する。

　（博士後期課程）内外の文献を幅広く渉猟しつつ、各自の問題意識と研究手法の洗練を目的として、研究指導する。

３．学生に対する要望・その他

　現行制度に対する幅広い知識と洞察に基づいて、各自が主体的に自らの研究領域を定め、積極的に取り組むことが求められる。